
横浜カントリークラブと戸塚カントリークラブ

横浜市内には横浜カントリークラブと戸塚カントリークラブ、それに程ヶ谷カントリークラブと磯子カントリークラブの四つのゴルフ場がある。

いずれも名門といわれ人気の高いゴルフ場である。

その内横浜カントリークラブは品濃町に（クラブ所在地は今井町であるがコースの一部は品濃町）あり戸塚カントリークラブは川上町にある。このことは品濃・川上の住民にとって、自慢話の一つである。

まず横浜カントリークラブの話から

コースは東西で計36ホール。アウトインともパー72の本格的コースで品濃・今井・大池町にまたがり約43万坪（140万㎡）という広大なゴルフコースである。

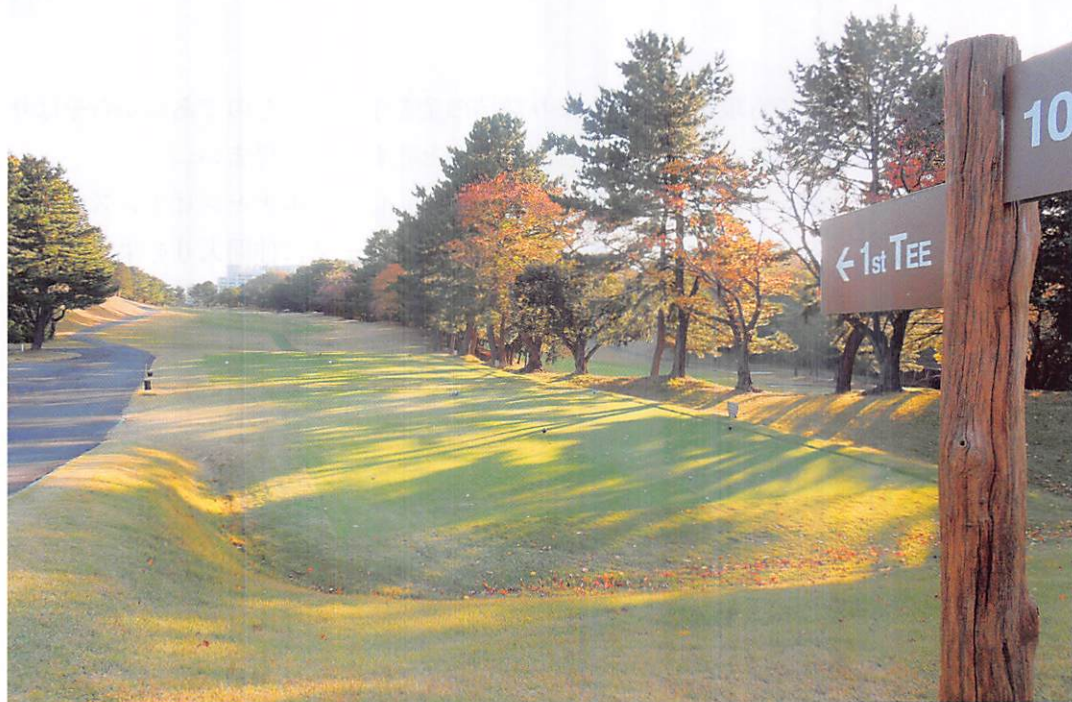
開業が昭和35年（1960年）であるから、かれこれ53年の歴史を持っている。

ミスターK実はこのクラブとは浅からぬ関係を持っている。

昭和30年ごろ、現在の社長相山武靖氏の先代相山武夫氏という人がこの緑豊かな広大な土地に目をつけゴルフ場の開発を計画した。

まずは用地買収から入り品濃・今井・大池の地主と交渉を開始した。

わがミスターK家も、この開発区域に1町歩を超える山林・畑・田んぼを持っていた。当時農業一本の我が家にとって生計の土台である田畑



横浜カントリークラブ スタートホール(今井町)

を失うということは一大死活問題であった。

交渉にあたったのは今は亡き父である。なにしろ広大な土地であるから我が家の一存という訳にもゆかず数十人の地主と協調を図り買収に応じる者、買収には応じないが貸地なら応ずる者ということで話がまとまった。

我が家では買収に応ずることになり詳しい買収価格は忘れたが一反あたり20万円くらいだったと、いつか父に聞いた記憶がある。

その代金について現金決済と会員権決済の二つの方法が提示され我が家は現金決済をした。会員権決済をした者もいたようであるがその数は多くはなかったようである。

なにしろ当時ゴルフなどというものは、この近在の者は殆んど知らず、この話がきてから初めて知ったというくらい縁遠いスポーツだったのである。

会員権決済をした人は先見の目があったのであろう。その後のゴルフブームにのり、いわゆるバブルのころには一口1億5千万円くらいまで会員権相場が暴騰した。しかし一口20万円（土地一反分）で手にした人がこの価格になるまで持っていた人は皆無であったと思われる。大方の人は一口30万円。40万円と相場が上がれば尻がもじもじして殆んどの人が売却したのではなかろうか。

それでも現金決済の人より数倍の金を手に入れたのであるからやはり現金決済の者より先見の目があったと言わざるを得まい。

開業して間もなく昭和40年（1965年）には日本チャンピオンズトーナメントを開催し、いわゆるトーナメントコースに仲間入りを果たした。

その後の主な競技としては昭和46年（1971年）の関東プロゴルフ選手権、昭和53年（1978年）には第43回日本オープンゴルフ選手権、昭和54年（1979年）には第一回かながわオープンなどを招致した。

しかし近年このクラブにいろいろの噂などがたち大きな競技は影を潜めていた。

そういう中、平成24年（2012年）に第45回日本女子オープンが開催され、かつての栄光を取り戻すべく久々に日が射してきたようである。

次は戸塚カントリークラブ

こちらも東西で計36ホール。アウトインともパー72の本格的コースで川上・名瀬町にまたがり約52万坪（170万㎡）で横浜カントリークラブより約9万坪も広い大型ゴルフ場である。

開業が昭和36年（1961年）なので横浜カントリークラブより一年後であった。

ミスターKの思い出の一つであるが、それは戸塚カントリークラブができる前の話。

戸塚カントリークラブの何番ホールであったか忘れたが池越えのショートホール。

その池はゴルフ場になる前は川上町の溜池であった。

ミスターK中学生のころガキ仲間とよく泳ぎに行った。品濃町と川上町の峰道を行き今の椿霊園辺りに出て田んぼのあぜ道を辿ると、その池に着いた。

池の広さは3反（1000坪）くらいあったであろうか。小さな谷を堤防でせき止めた人工池であった。

池の水は湧水だったので比較的きれいであったが底は沼だったので飛び込むと沼の泥が湧きあがりかなり濁りが出た。

当時通学した学校にはプールが無かったためガキ仲間はこの池や以前述べた赤関橋などで泳ぎを覚えたものである。

なお、この池は柏尾川の源流の一つでもある。

ミスターKは、若いころ、横浜カントリークラブと戸塚カントリーク

ラブのメンバーになっていたことがある。

ゴルフをやめて、かれこれ10年以上になるが、その前はゴルフ友と週1回程度のペースでプレーを楽しんでいた。

最終的なオフシャルハンデは19で、いわゆるボギーゴルファーの壁を超えることはできなかったが、しょせん遊びゴルファーだったので楽しかった思い出だけが残っている。ゴルフをやめた最大の理由はゴルフ友がいなくなってしまったということである。

ミスターKのゴルフ友は、みな年上ばかりであったので今は皆あの世へ逝ってしまった。

ゴルフについて一つだけ話を追加すると税理士会戸塚支部のゴルフ同好会はミスターKと数人の有志で立ち上げたものである。

どういう訳か同好会の会長にまつりあげられ約20年近くその職にあったがミスターKゴルフを卒業してしまったので同時に同好会会長の職も降りさせて頂いた。